

2026 年度 夏季短期留学プログラム 募集要項

「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ」（４単位）

カリフォルニア大学デイヴィス校（米国）
シェフィールド大学（英国）
チュービンゲン大学（ドイツ）
トゥールーズ＝ジャンジョレス大学（フランス）

「短期留学プログラムⅢ・Ⅳ」（２単位）

韓国（1. 檀国大学 2. 慶熙大学）
スウィンバーン工科大学（オーストラリア）
国立中央大学（台湾）
メキシコ国立自治大学（メキシコ）

【注意】

- ・プログラム合格後は辞退することは原則認められていません。
- ・プログラム内容や参加費用、誓約書をよく確認したうえで応募して下さい。
- ・宿泊形態（ホームステイ・大学寮等）は変更になることがあります。
- ・時期的に日本人が多いことを理解して応募してください。
- ・募集要項の内容（参加費等）は変更になることがあります。変更が生じた場合には、都度募集要項を更新します。
- ・本学で行われる事前授業や事前・事後研修には必ず参加すること。
- ・参加者には終了後レポート提出が課されます。

2026年度 夏季短期留学プログラム 募集要項 目次

内 容		ページ	
1.	夏季短期留学の概要と目的	1	
2.	授業科目名及び履修登録について	2	
3.	応募要件とスケジュール(全プログラム共通事項)	3	
4.	参加にあたっての義務・遵守事項および注意事項	5	
5.	一般的留意事項 (全プログラム共通)	7	
	全学メールに関して	8	
	Cplus アンケート形式 2026年度夏季短期留学プログラム応募方法	9	
6.	プログラム実施要領(予定)		
英語	4単位	カリフォルニア大学デイヴィス校 (米国)	1 2
		シェフィールド大学 (英国)	1 4
	2単位	スウィンバーン工科大学 (オーストラリア)	1 6
独語	4単位	チュービンゲン大学 (ドイツ)	1 8
仏語		トゥールーズ = ジャンジョレス大学 (フランス)	2 0
韓国語	2単位	檀国大学 (韓国)	2 4
		慶熙大学 (韓国)	2 6
中国語	2単位	国立中央大学 (台湾)	2 8
スペイン語	2単位	メキシコ国立自治大学 (メキシコ)	3 0

問合せ先：中央大学 国際センター

電話：042-674-2219

Email：tanki-grp アット g.chuo-u.ac.jp アットを@に変えて送信

【問合せ送信時の注意】

件名：「短期留学プログラムに関して」

本文：「学籍番号・氏名・希望参加プログラム名」を明記してください。

1. 夏季短期留学の概要と目的

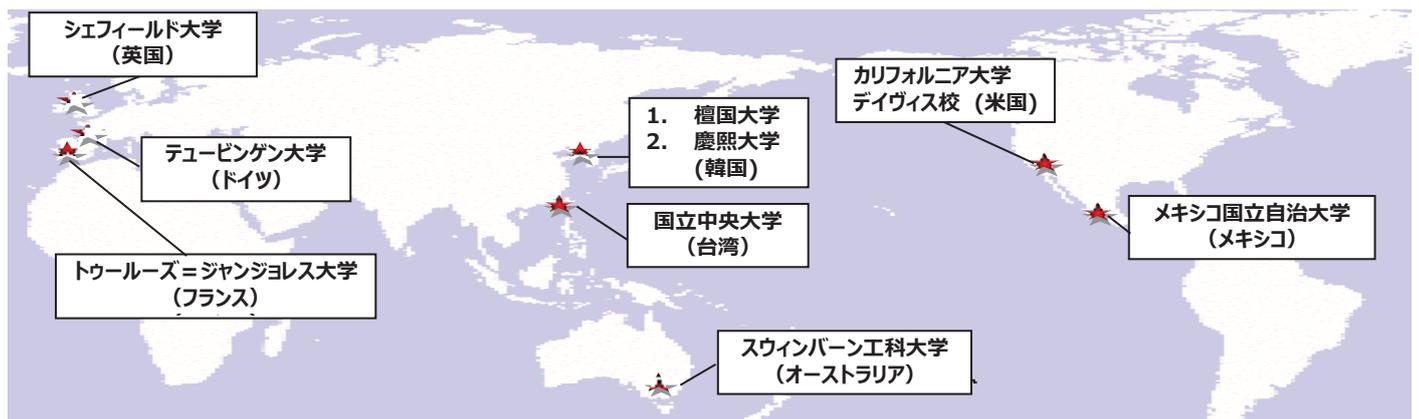
(1) 概要 ※日程は変更になる場合があります。

本学協定校のうち、下記の協定校 9 校において実施される夏季研修への参加と、その準備過程としての本学における前期授業または事前研修・事後研修を受講することで、履修者に対し、本学の授業科目としての単位（4 単位または 2 単位）を付与するものです。前期授業および事前研修の内容については、講義要項で確認して下さい。

大学名	場所	渡航期間(日本発～日本着)
短期留学プログラム I・II(4単位)		
カリフォルニア大学デイヴィス校	米国 カリフォルニア州デイヴィス	8月6日(木)～9月6日(日)
シェフィールド大学	英国 シェフィールド	8月1日(土)～9月2日(水) ※ロンドン旅行含む
テュービンゲン大学	ドイツ テュービンゲン	集合：8月3日(月) 解散：8月28日(金)
トゥールーズ＝ジャンジョレス大学	フランス トゥールーズ	8月1日(土)～8月30日(日)
短期留学プログラム III・IV(2単位)		
スウィンバーン工科大学	オーストラリア メルボルン	8月22日(土)～9月12日(土)
檀国大学	韓国 京畿道龍仁市	集合：8月3日(月) 解散：8月21日(金)
慶熙大学	韓国 ソウル特別市東大門区	集合：8月30日(日) 解散：9月19日(土)
国立中央大学	台湾 桃園市	集合：8月5日(水) 解散：8月18日(火)
メキシコ国立自治大学	メキシコ タスコ市	8月8日(土)～9月6日(日)

(2) 目的

1 ヶ月という短期間ですが、短期留学プログラムは異文化体験を通して、自己を発見し、視野を広げることができる絶好の機会です。異文化の中で、これまでの体験や知識では対応できないような状況に遭遇しながらも、外国語で、またこれまでの自分の経験をもとに、臨機応変に問題を解決する能力が必要となり、自分を試されることになります。このような経験を経ることによって、自立性、自信を身につけることは、社会に出てからの社会人基礎力としても非常に重要なことです。また、それは一朝一夕では築くことのできない自信でもあるのです。こうした目的に基づき、本学では、皆さんが短期留学プログラムで最大限の成果を得られるよう支援します。



2. 授業科目名及び履修登録について

(1) 授業科目名・対象プログラム

■ 授業科目名：短期留学プログラム I・II(4単位)

週1回 全14回の前期授業の受講と現地研修を受講し、当年度前期授業分として4単位付与/評価される科目です。※引率はありません。

対象プログラム

【英語圏】 カリフォルニア大学デイヴィス校(米) / シェフィールド大学(英)

【ドイツ語】 テュービンゲン大学(独) 【フランス語】 トゥールーズ＝ジャンジョレス大学(仏)

前期授業：授業内容詳細は、講義要項で確認してください。

- 前期授業により基礎語学力を身につける。
- 訪問先国の文化・社会に関する事前知識を身につける。
- 渡航、現地での生活に関する実践的な知識を身につける。

■ 授業科目名：短期留学プログラム III・IV(2単位)

事前研修3回、事後研修1回と現地研修の修業状況及び課題取組みと提出状況により、当年度後期授業分として2単位付与/評価される科目です。※引率はありません。

対象プログラム

【英語圏】 スウィンバーン工科大学 (オーストラリア)

【韓国語】 檀国大学 / 慶熙大学 (韓国)

【中国語】 国立中央大学 (台湾)

【スペイン語】 メキシコ国立自治大学 (メキシコ)

事前研修(3回)：研修内容の詳細は、講義要項を確認してください。

- 研修手続き、現地情報や緊急連絡先等の最終確認 2回
- 担当教員による研修1回
訪問先国の文化・社会や現地研修内容に関する事前知識を身につける。

事後研修(1回)

- プログラム参加者間でのディスカッションや課題取組み、提出などを通して、留学経験の振り返りを行い、留学を通して得た事を再確認し、今後の学生生活に活かすことを目的とします。
その他、課題(レポート等)提出もあります。

(2) 履修登録について

登録方法	自動登録 ・次年度に登録されているか必ず確認してください。 ・所属学部の履修上限単位数を超えての登録はできません。 ・所属学部の授業科目として算入される科目区分も所属学部によって異なるため、必ず確認してください。
授業科目名/単位	学部間共通科目「短期留学プログラムI・II」 4単位
単位付与	<u>派遣年度の前期</u>
授業(研修)形態	前期授業 14回(週1回) + 現地研修
授業科目名/単位	学部間共通科目「短期留学プログラムIII・IV」 2単位
単位付与	<u>派遣年度の後期</u>
授業(研修)形態	事前研修 全3回 + 現地研修 + 事後研修 1回

3. 応募要件とスケジュール（全プログラム共通事項）

(1) 応募要件

次の全ての条件を満たしている学生とします。

- ① 2026 年度時点で 1～4 年生として在学する学部生。
- ② 心身ともに健康であり、プログラムに対して真摯に取り組む学生。
- ③ TOEIC400 点程度、またはそれと同等程度の英語力を有する学生。(応募の際スコア提出の必要なし)
- ④ 別紙「誓約書」に同意できる学生
- ⑤ 国際情報学部生については、2023 年 4 月 1 日以降に入学した者のみ応募対象となります。

**日本国籍以外の学生が応募する際には、応募前に早めに国際センターにご相談ください。
日本国籍保有者でも日本国外で出生の場合、その国の国籍を有している可能性もあり、確認が必要です。
ビザ取得に時間を要することから、応募できるプログラムが限られる場合があります。**

(2) 応募要領・応募から事後研修までのスケジュール

※日程及び実施時限は、変更になる場合があります。

日程	実施内容	詳細
3月13日(金)	募集要項配布	国際センターHP、C plus からダウンロード
3月19日(木)	説明会(オンライン)	※URL は C plus の「お知らせ」に掲載します。 ※募集説明会に参加しなくても応募はできますが、なるべく参加してください。参加できなくても選考に不利にはなりません。
語圏：英・独・仏 3月23日(月)～ 4月3日(金)正午	募集期間	■申込み：C plus アンケートから応募 ※応募方法：P.9 参照 ※応募後は、必ず定期的に全学メールを確認してください。
語圏：韓・中・ｽﾊﾟｲﾝ 3月23日(月)～ 4月10日(金)正午		
語圏：英・独・仏 4月3日(金)～	選考期間	原則、書類審査 ※成績も審査の対象となります。
語圏：韓・中・ｽﾊﾟｲﾝ 4月10日(金)～		
語圏：英・独・仏 4月8日(水)～随時	参加可否 決定通知発送	参加可否発表(全学メールにてお知らせします)
語圏：韓・中・ｽﾊﾟｲﾝ 4月15日(水)～随時		
7月中旬(日程未定) 決定次第お知らせします。	危機管理セミナー ※全プログラム 参加必須	海外での注意点 海外旅行保険

短期留学プログラムⅠ・Ⅱ：オリエンテーション ※各プログラムページをご参照ください。

短期留学プログラムⅢ・Ⅳ：事前研修・事後研修 ※以下の通り実施します。

短期留学プログラムⅢ・Ⅳ			
日程	実施内容	時限	詳細
4月25日(土)	事前研修第1回目 研修手続きについて	9:30~10:40	国立中央
		2限	スウィンバーン
4月22日(水)		5限	メキシコ国立自治
5月16日(土)		2限	韓国プログラム(檀国・慶熙)
6月6日(土)	事前研修第2回目 担当教員による研修 (授業形式)	2限	スウィンバーン
6月13日(土)			韓国プログラム(檀国・慶熙) 国立中央 メキシコ国立自治大学
7月11日(土)	事前研修第3回目 最終確認：現地情報 や緊急連絡先等	9:30~10:40	国立中央
		2限	韓国プログラム(檀国・慶熙)
7月31日(金)		16:00~17:40	スウィンバーン
7月(日時未定) 決定次第お知らせしま す。		-	メキシコ国立自治
7月(日程未定) 決定次第お知らせしま す。	危機管理セミナー ※全プログラム 参加必須	-	海外での注意点 海外旅行保険
9月26日(土)	事後研修	2限	全プログラム

4. 参加にあたっての義務・遵守事項および注意事項

(1) 応募時の注意

- 時期的に日本人が多いことを了承した上で、応募してください。
- 第2希望記入に関して
応募の際、第2希望まで入力することができますが、第1希望プログラムの選考から漏れ、かつ入力した第2希望プログラムが定員割れしている場合、第2希望プログラムで選考され、その選考結果が通知されます。
- 持病や心身の健康不安に関して
持病や心身の健康に不安がある場合には、事前に国際センターへ相談してください。申込前に主治医に相談してもらい、留学が可能かの診断書の提出を求める場合があります。また、心身の持病に関しては、申込票（C plus アンケート）に必ず病名、症状など詳しく入力して下さい。アレルギーに関しては、何に対してのアレルギーでどのような症状が出るのかも記入してください。
- 参加費用の資金計画について
参加希望プログラムの資金計画については、保護者の方とよく話し合ってください。
国際センターが募集する予定の奨学金が2種類ありますが、奨学金がないとしても資金計画が成り立つようにご準備ください。 募集情報は参加決定者に後日お知らせします。
 1. JASSO 給付奨学金：米国、英国、ドイツ、フランスプログラムのみ対象、給付額 11 万円（予定）。※学内選考あり。GPA 要件あり。
 2. 中央大学 ファーストチャレンジ（短期留学）奨学金 ※2026 年度新規、全プログラム対象、要件あり。
- パスポート取得に関して
パスポート未取得の学生：参加決定後すぐに申請手続きをしてください。
一人暮らしなどで東京都または居住地に住民登録をしていない場合でも、「**居所申請**」で**パスポート申請が可能**です。東京都または現居住地での居所申請方法を確認し、対応してください。
パスポート取得済の学生：パスポートの有効期限を必ず確認し、必要に応じて更新してください。
- 各学部事務室では、留学期間中に追試、シーズンコースの実施、また成績発表、成績調査（疑義申し立て）などの各種手続期間を設定する場合があります。この点を理解した上で応募してください。
- 試験期間と短期留学プログラムの日程が重複する場合は、試験実施等に関する「配慮願ひ」の発行を行います。

(2) 授業に関して

- ・「短期留学プログラム I・II (4 単位)」(英語圏・独語圏・仏語圏)の初回授業日は各プログラムの案内ページを確認してください。また、各プログラムの授業実施教室は、各自時間割表を確認して下さい。
- ・休講分の授業については、7 月中に実施される「危機管理セミナー」の参加および、レポート等で代替いたします。

(3) 各学部の奨学金制度に関して

中央大学の各学部それぞれに給付奨学金を設けています。(下記 URL および QR コードから参照可能)この短期留学プログラムが支給対象となる奨学金もありますので、所属学部の奨学金制度を確認し、所属学部事務室へ確認してみてください。

各学部独自の奨学金制度一覧

URL : https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/scholarship/list/university_faculties/faculty/



(4) 参加者の義務・遵守事項 ※参加が確定した人は以下のことを守っていただきます。

1. 海外旅行保険について

(1) 参加者は、中央大学の指定する海外旅行保険に加入していただきます。

これは以下の理由に基づくものです。

- ①複数名に治療・救護が必要となった場合に、学生間で待遇に差が生じないようにするため。
- ②事故等の場合に、大学にも直接連絡が入る体制にするため。

(2) クレジットカードによる付保は認めません。

2. 「誓約書」および「健康状態報告書」の提出について

(1) 選考後、短期留学プログラムの参加が確定した際に、「誓約書」および「健康状態報告書」（持病、既往歴、アレルギーの有無、常用薬等を記入）を配付します。両書類には、保護者の署名も記載して提出していただきます。現地で心身上のトラブル等があった場合に、現地での医療機関受診等の可能性がありますので、必ず提出してください。なお、個人情報となりますので、厳重に取り扱います。

(2) 持病のある学生・通院中の学生には、プログラム参加決定後、英文の診断書と処方箋の控えを提出していただきます。それ以外でも健康上の理由で心配な点や相談したい点がある場合は、国際センターに申し出てください。

※**既往歴について中央大学指定の海外旅行保険プランによって補償対象外となる場合もあります。**

(5) ビザについて

1. 留学先国によっては、日本国籍の学生にはビザが免除される国でも、日本国籍を持たない学生にはビザ取得が要求される場合があります。その際、ビザ取得にかかる手続や費用は個人負担となります。

2. 派遣校で受け入れが確定していても、ビザが取得できないために渡航できない場合があります。その際のキャンセル料等は個人負担となりますので注意してください。

(6) 注意事項

- **感染症等の拡大状況等によってはプログラムが中止となる可能性もあります。**
- **不慮の事態により履修を辞退する場合でも、履修削除ではなく「評価不能[F]」となる場合があります。**
- **不慮の事態により渡航を辞退する場合でも、プログラム参加費用(渡航費用・現地滞在費用・語学研修費用およびビザ取得費用等)に関しては、それぞれに設定された取消料金規定に応じた金額を支払う事になります。(取り消し手数料がかかる場合もあります。)**
- **プログラムに合格した場合、原則として辞退することは認められていません。**体調の問題などやむを得ない事情があって辞退する場合は早めに申し出てください。
- **いずれのプログラムも、事前授業/事前研修のみの受講や現地プログラムのみ参加はできません。**
- **事前・事後授業が対面で行われるプログラムについては、対面で参加できない場合、応募できません。**
- **短期留学では、複数のプログラムに同時に参加することはできません。**
- **短期留学プログラムを初めて履修する場合「短期留学プログラムⅠまたはⅢ」、2回目にプログラムを履修する場合「短期留学プログラムⅡまたはⅣ」となります。**
- **本人の体調・ご家庭の事情等やむを得ない事情がある場合を除いて、個人の意思により履修中止・現地プログラム中の途中帰国、滞在の延長はできません。**
- **外務省が発表する国別海外安全情報の危険レベルが上がった場合、プログラムが中止となる可能性があります。**

5. 保険について

短期留学プログラムに参加する学生は全員大学指定の保険に加入する必要があります。なお、歯科治療については保険の適用範囲外です。

6. 一般的留意事項（全プログラム共通）

1	募集要項は、2026年2月時点の情報に基づいて作成しています。プログラムの個別内容（スケジュール、費用、滞在形態等）は今後変更・中止となる可能性もありますので、ご了承下さい。また、プログラム実施については、今後の感染症の状況等の世界情勢により、中止や実施形態の変更が生じる場合があります。それを踏まえた上で応募してください。
2	プログラムは授業科目として運営されており、前期授業の出席状況と授業態度、現地プログラムでの出席状況と授業態度、試験に基づく成績を全て総合して、参加学生の最終的な成績評価を行い、単位を付与します。したがって、国内外での授業態度に問題が見られる場合、単位を付与されない可能性もあります。また、現地での授業や生活態度に問題がある場合、途中で帰国を促すこともあります。
3	短期留学プログラムの参加については、あくまで 参加者個人の責任によってなされるものです 。中央大学は皆さんの安全と健康について十分に配慮するとともに、当プログラムが支障なく実施されるよう可能な限り最善の方策を講じます。 参加者の自己都合によるプログラム参加辞退に関しては、研修校・航空券手配会社等のキャンセル規定に沿って参加者の負担となります。天災、火災、戦争、テロ、ストライキ、疫病などの不慮の災難による日程変更/プログラムの中止(現地プログラム開始前後ないし研修最中を問わず)などの場合、参加者が被った損害については、原則自己責任となり、参加者に負担して頂く可能性があります。
4	現地研修期間中の第3国への渡航に関しては、英語圏・仏語圏・スペイン語圏は原則禁止とします。独語圏、韓国語圏、中国語圏には、国際センターの設定する期日までにその旅程、宿泊先および連絡先等を国際センターへ提出し、かつ授業担当教員がこれを短期留学プログラムの趣旨に反しないと判断し許可した場合に限り、第3国への渡航を許可することとし、それ以外は原則禁止とします。
5	プログラムの実施形態が現地集合・現地解散の場合、集合までの行動および解散後の行動については個人責任となる点を留意して参加、行動して下さい（現地集合・現地解散プログラム：チュービンゲン大学、韓国プログラム(檀国大学、慶熙大学)、国立中央大学）。
6	国際情勢の急激な変化によっては、現地プログラムの中止または内容が一部変更となる可能性もあります。2021年および2022年短期留学プログラムは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全プログラムが中止となりました。
7	当年度の参加費用については未定のプログラムもあります。その場合前年度の費用を参考にしてください。参加費用振込後、やむを得ず参加を取止める場合でも、参加取止め時期によっては参加費用全額を返還できないことがあります。また、各プログラムごとのキャンセル規定により、時期によってはキャンセル費用を支払う必要があります。
8	参加学生は現地プログラム運営者、滞在先関係者の指示に従い、他の参加学生と積極的に協力して事故防止に努めて下さい。万一盗難、紛失、詐欺にあった場合は、参加者の自己責任となります。交通事故、暴行、傷害その他の犯罪、本人の規律違反や過失、自己の故意や過失によって他人に被害を及ぼした場合、当人は保証人と共に賠償の責任を負います。
9	現地滞在中に規律に違反したり他人に甚だしい迷惑をかけた学生に対する処分は、プログラム関係機関の担当者に一任されます。その処分に伴う費用の一切は本人および保証人に負担していただきます。
10	留学中は留学先国・地域の法律・条令等や留学先大学ならびに滞在先の規則を遵守してください。本プログラムは本学がグループとして参加する団体生活であり、したがって、定められた時間の厳守、規律の遵守が義務付けられると同時に、「自分のことは自分でやる」という心構えを持ち、プログラム関係機関の担当者や他の参加者に迷惑を及ぼさないよう注意してください。現地滞在中は特に、プライバシーの侵害、深夜の飲酒、自動車（自動二輪車を含む）の運転を禁止します。

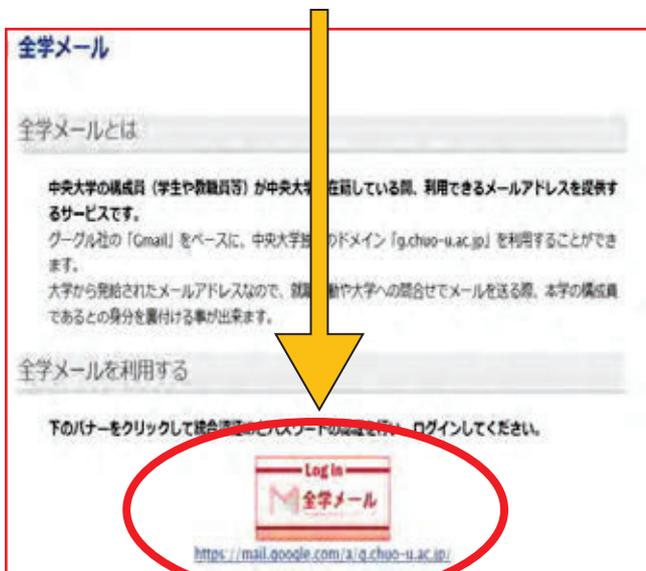
全学メールに関して

全学メールは中央大学から付与されているアドレスです。
C plus または Gmail アプリ等から確認ができます。

ログイン案内 URL : <https://sites.google.com/a/g.chuo-u.ac.jp/gmail/>

国際センターからの連絡は全て、全学メール宛に送ります。
必ず定期的に確認してください。

② ログイン案内画面のログイン URL にアクセス



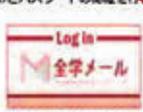
全学メール

全学メールとは

中央大学の構成員（学生や教職員等）が中央大学に在籍している間、利用できるメールアドレスを提供するサービスです。
グーグル社の「Gmail」をベースに、中央大学のドメイン「g.chuo-u.ac.jp」を利用することができます。
大学から発給されたメールアドレスなので、部局や大学への問合せでメールを送る際、本学の構成員であるとの身分を裏付けられます。

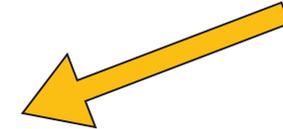
全学メールを利用する

下のバナーをクリックして統合認証システムへのアクセスを行い、ログインしてください。



<https://mail.google.com/a/g.chuo-u.ac.jp/>

① ログイン案内 QR コード



③ 統合認証 ID とパスワードでログイン



 中央大学 Web Single Sign On System

中央大学 Web Single Sign On System (SSO) とは、SSO連携しているシステムであれば一貫して異なるシステムやアプリケーションを利用することができるシステムです。[詳しくはこちら](#)

中央大学 統合認証ID、パスワードを用いてログインします。
入力後、ユーザご所属の許可を定めるページが表示されますのでご確認ください。

利用サービス:

Google.com
統合認証ID※ 番号を入力)

パスワード

- 管理者からのお知らせ
- ログインには統合認証ID、パスワードをそれぞれ入力してください。
- 統合認証IDについてはこちらをご覧ください。
- 統合認証IDは半角で入力してください。半角文字入力ではありません。
- ご所属の課の担当事務局
- ご所属の情報は、パソコンにロックをかける際、全てのアプリアイコンが非表示になります。

C plus アンケート形式 2026 年度夏季短期留学プログラム 応募方法

※必ず募集要項の内容を確認した上で、申込をしてください。

1. 「C plus」へログイン⇒「アンケート」から希望の短期留学プログラム名を選択すると、下記画面となります。
2. 各設問に必ず回答し、全ての入力終了したら、登録を押し申し込みが完了となります。

【重要注意事項】

- 提出後の修正が可能です。(上書きされ、重複で申込となりません。)
- アンケート記入には**時間がかかり、途中保存ができません**。アンケート入力の際は、時間に余裕を持って作業してください。また、事前に Word 等で文章を作成した上、アンケートへ転記することをお勧めします。(文字数の確認も併せて行ってください。)
- アンケートには、**英語で入力する設問があります**。
- **必ず誓約書(添付 PDF)の内容に同意した上でアンケートにチェック**をしてください。

【参加申込票 最初の部分】

2026年度夏季短期留学プログラム(英・独・仏)参加申込票※必ず国際センター発行の募集要項を確認してください

2026年度夏季短期留学プログラム参加者を募集します。募集要項を確認の上、お申し込みください。なお、誓約書についてもしっかり確認した上で申し込んでください。

なお英語圏プログラム参加者向けの一部設問が英語で回答となっておりますが、その設問については、ChatGPT等の生成AIを使用しないでください。

1. 参加希望のプログラムをチェックしてください ※この設問には、必ず回答して下さい。

- カリフォルニア大学ディヴィス校 (アメリカ・4単位)
- シェフィールド大学 (イギリス・4単位)
- テュービンゲン大学 (ドイツ・4単位)
- トゥールーズ=ジャンジョレス大学 (フランス・4単位)
- スウィンバーン工科大学(オーストラリア・2単位)
- 【選択不可】
- 【選択不可】
- 【選択不可】
- 【選択不可】
- 【選択不可】

各設問には、
チェックまたは回答を
必ず入力してください。

2. 第二希望のプログラムをチェックしてください。無ければ「なし」をチェックしてください ※この設問には、必ず回答して下さい。

- カリフォルニア大学ディヴィス校 (アメリカ・4単位)
- シェフィールド大学 (イギリス・4単位)
- テュービンゲン大学 (ドイツ・4単位)
- トゥールーズ=ジャンジョレス大学 (フランス・4単位)
- スウィンバーン工科大学(オーストラリア・2単位)
- なし

【留意点】

保護者の携帯番号・メールアドレスの入力が必要となります。
正確な番号・アドレスの入力をお願いします。
また、国際センター短期留学担当からのメールが受信できるよう保護者へ伝えておいてください。

【参加申込票 最後の部分】

24. この質問には回答しないでください。

-
-
-
-
-

誓約書は必ず開き、
内容に同意した上で
チェックを入力してください。

25. 最後に添付された誓約書を確認し、同意する場合は「はい」を選択してください ※この設問には、必ず回答して下さい。

添付ファイル: 中央大学国際センター誓約書.pdf

- 誓約書を読み、誓約事項を遵守します

全ての入力終了したら、
「登録」を必ず押してください。
※登録完了メールなどは配信されません。

26. 過去に国際センターの短期留学プログラムに参加されたことのある方は参加

例 2回(2019年夏、2020年春)

6. プログラム実施要領(予定)

【英語圏】

「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ」(4単位)

カリフォルニア大学デイヴィス校(米国)

シェフィールド大学(英国)

「短期留学プログラムⅢ・Ⅳ」(2単位)

スウィンバーン工科大学

【独語圏・仏語圏】

「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ」(4単位)

チュービンゲン大学(ドイツ)

トゥールーズ=ジャンジョレス大学(フランス)

申込期間

2026年3月23日(月)

~4月3日(金) 正午まで

研修先	University of California, Davis Extension's Center for International Education (米国 カリフォルニア州)	
現地研修実施日程	2026年8月7日(金)~9月4日(金)	
渡航期間	2026年8月6日(木) 日本発~9月6日(日) 日本着 (ユナイテッド航空利用予定)	往復団体行動
プログラム	カリフォルニア大学デイヴィス校エクステンション Center for International Education での4週間の語学研修 http://extension.ucdavis.edu/international_programs/about.asp	
滞在先	大学寮 ※変更の場合あり	
募集人員	20名	最少催行人数：10名
プログラム参加者	他国からの学生と混合	夏季休暇中の為、日本人の割合が高い。
参加費用	詳細は P.13「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
前期授業担当	理工学部 リア、デイビット 教授	後楽園キャンパスで対面開講。 他キャンパスの学生はこの点に注意して応募してください。
前期授業日程	木曜日 5時限 (初回授業日：4月16日) 本プログラムの前期授業は、後楽園キャンパスにて対面で行います。	
選考に関して	原則、書類選考 ※場合によっては面接実施	面接実施の場合： 全学メールで個別に連絡します。
オリエンテーション	4月23日(木)、7月16日(木)の4限に実施 ※参加が難しい場合は国際センターまでご相談ください	後楽園キャンパスで実施

(1)前期授業

参加者は、前期授業週1回、全14回を受講します(後楽園キャンパス)。授業内容は、各学部講義要項を確認してください。前期授業期間中、申込手続き等に関して別途オリエンテーションを実施します。

※文系学部生の申込みは可能ですが、後楽園キャンパスでの授業に出席するための移動時間等も含めご自身の時間割状況を考慮した上、申込みをしてください。

(2)プログラム概要

■カリフォルニア大学デイヴィス校の特色

カリフォルニア大学デイヴィス校は、30,000名以上の学生が在籍しており、100以上の専攻がある大規模州立総合大学です。農業専門学校として誕生したこともあり、現在でも農業関連の分野において高い評価を受けています。付属のカリフォルニア大学デイヴィス校エクステンションは、50年以上の長い歴史と経験を誇っており、生涯教育プログラムや留学生向けの語学プログラムを提供しています。

■現地研修(選択制：ESTまたはCCP)

《1》English for Science and Technology (EST)

科学技術分野を専攻している学部生、大学院生を対象に組まれたプログラムです。授業は週16時間で、話す力、発音、プレゼンテーション力およびリサーチスキルの習得と向上を目的とし、科学技術関連トピックスについてのディスカッションやプレゼンテーションを行います。研究所や企業訪問も予定されています。

《2》Communication and Culture Program (CCP)

アメリカの文化理解と会話力の向上を主な目的としています。コース初めに行われるプレイスメントテストに応じて自分の能力にあったクラスに参加できます。クラスレベルは初級~上級に分かれており、1クラス15~20名の少人数制クラスです。授業は週16時間で、次の4つのコアクラスがあります。※クラス内容は、変更の可能性があります。

- Everyday Expressions & Idioms
- Listening & Pronunciation
- Intercultural Research Project
- US Society & Culture

◆◇ オプションツアー ◇◆

希望者は、現地で別途参加費を払って、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ナババレー、ヨセミ国立公園等へのフィールドトリップに参加できます。詳細は現地のオリエンテーションの際に説明があります。

■滞在先：大学寮

*1日3食付、2人一部屋予定。(宿泊プランによる) ※変更の可能性あり。

(3)参加費

参加費には一部未確定のものや外貨建てのものが含まれるため、総額が変更になる可能性がありますので注意してください。

予定参加費：約 110 万円～120 万円

参加費に含まれるもの	<ul style="list-style-type: none">・授業料(EST:2010USドル、CCP:2010USドル)・大学寮費用(3食:約2,900ドル～3,500ドル。宿泊プランによる)・日程表に記載された区間の航空運賃、往復空港送迎費、空港施設使用料・現地空港税・出国税等(約33万円)・ビザ申請費用(ESTA)及びビザ取得サポート費用(約2万円)・現地指定保険(275USドル)
参加費に含まれないもの	<ul style="list-style-type: none">・キャンパスレクリエーション費用(体育施設利用料を含む:60USドル) ※希望者のみ・海外旅行保険料(中央大学指定)・日本国内の交通費・現地での通学交通費や個人参加のツアー等・レンタルサイクル費用(希望者のみ)・自由行動時の諸費用、携帯電話代金やお土産代等個人的な支出など。

※大学寮の費用は4月初めに確定します。

★自転車のレンタルに関して

現地で使用できるレンタル自転車があります。例年、多くの学生がレンタルしているようです。

キャンパス内が非常に広く、キャンパスの移動で使用できるため、重宝したという声が多く聞かれます。

事前予約が出来るので、希望する場合はオリエンテーションでご相談ください。

研修先	The University of Sheffield(英国 シェフィールド) https://www.shef.ac.uk/	
現地研修実施期間	2026年8月3日(月)～8月29日(土) ※その後ロンドン旅行(4日間:8/29～9/1)	
渡航日程	2026年8月1日(土)～9月2日(水)日本着(シンガポール航空利用予定)	往復団体行動
プログラム	シェフィールド大学サマーコースでの4週間の語学研修	
滞在先	大学寮 ※変更になる場合あり	
募集人員	約30名	最少催行人数:10名
プログラム参加者	他国からの学生と混合	夏季休暇中の為、日本人の割合が高い。
参加費用	詳細はP15「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
前期授業担当	経済学部 ウーラートン, マキシム 准教授	
前期授業日程	月曜5限(初回授業日:4月20日) 本プログラムの前期授業は、多摩キャンパスにて対面で行います。	多摩キャンパスで対面開講。 他キャンパスの学生はこの点に 注意して応募してください。
選考に関して	原則、書類選考 ※場合によっては面接実施	面接実施の場合: 全学メールで個別に連絡します。
オリエンテーション	4月25日(土)、7月11日(土)の2限	多摩キャンパスにて対面で実施

(1)前期授業

参加者は、前期授業週1回、全14回を受講します。授業内容は、各学部講義要項を確認してください。
前期授業期間中、申込手続き等に関して別途オリエンテーションを実施します。

(2)プログラム概要

■ **シェフィールド大学の特色**

シェフィールド大学は、国際社会をリードする優秀な人材を輩出し続けているイギリス屈指の総合大学です。その研究力は国際的に高く評価され、生物医学、歴史学、政治学、システムエンジニアリング、ビジネスなどの分野で、世界を牽引する教育機関です。また、ヨーロッパにおける日本研究のパイオニア的存在としても知られており、東アジア学科には日本研究センター (the Centre for Japanese Studies) が設置されています。

■ **現地研修**

シェフィールド大学付属のELTC (English Language Teaching Centre) が主催するサマーコースに4週間参加します。世界各国の学生が集まるこのプログラムでは、1クラス15人程度、かつ多国籍のクラス編成で授業が実施されます。登校初日にプレイスメントテストが実施され、自身のレベルに合ったクラスに配属となります。コースレベルは、A2(Elementary)からC1(Advanced)レベルです。授業はグループによるディスカッションを中心とした内容となっており、参加者の積極的な姿勢が求められます。また、自らの考えを英語で述べ合ううちに、英語による表現方法を身に付けることはもちろん、世界中の様々な人たちの考え方に触れることができます。

* 1 週間のスケジュール(例) ※変更になる可能性があります。

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Morning Class 9:15 – 12:45	Morning Class 9:15 – 12:45	Morning Class 9:15 – 12:45	Morning Class 9:15 – 12:45	Morning Class 9:15 – 12:45
Lunch break	Lunch break	Lunch break	Lunch break	Lunch break
Afternoon Class 13:45-15:15	Afternoon Class 13:45-15:15	Afternoon Lecture 13:45-15:00	Afternoon Class 13:45-15:15	

※17：00 からは、Optional としてラグビーやテニスなどのスポーツや、Singing group、arts&crafts 等もあります。

■ 課外活動

ソーシャル・オーガナイザーによって企画・運営される各種イベント（アフタヌーンパーティー、大学グラウンドでのスポーツゲーム、バスでの週末日帰り旅行（ヨーク、リバプール等）、インターナショナル・イブニング等）は、各国の学生と交流できる場でもあり、授業での成果を試す絶好の機会でもあります。

■ 滞在先(履修者には確定次第連絡します) ※変更になる場合があります。

- * ELTC 近くの寮(4~5 名同フロア・キッチン共有・シャワー・トイレ設置の個室の予定) ※変更の可能性あり
- * 食事：3 食自炊または外食

(3)参加費

参加費には未確定のものや外貨建てのものが含まれるため、総額が変更になる可能性がありますので注意してください。

予定参加費：約 95～100 万円

参加費に含まれるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料(1,560.6 ポンド) ・寮費用(食費等自己負担)(約 850 ポンド) ・日程表に記載された区間の航空運賃、空港施設使用料・現地空港税・出国税等、ロンドン宿泊費、空港送迎費用（約 40～45 万円）
参加費に含まれないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行保険料(中央大学指定) ・ロンドン旅行中の個人的な支出や課外活動費 ・日本国内の交通費 ・寮滞在の場合の食費や洗濯代等 ・現地での通学交通費や個人参加のツアー等 ・自由行動時の諸費用、携帯電話代やお土産代等個人的な支出など。

研修先	Swinburne University of Technology Swinburne College（オーストラリア・メルボルン）	
出発日	2026年8月22日（土）発 <現地着8月23日（日）>（カンタス航空利用予定）	往復団体行動
現地研修期間	2026年8月24日（月）～9月11日（金） 約3週間	
現地出発日	2026年9月12日（土） <日本着：9月12日（土）>	往復団体行動
プログラム	スウィンバーン工科大学英語教育機関での3週間語学研修	
滞在先	ホームステイ	個室の予定
プログラム参加者	他校/他国からの学生との混合	時期的に日本人が多いため、クラスにより他国学生がいない事があります。
募集人員	45名	最少催行人数 10名
事前・事後研修 担当教員	法学部 森谷 亮太 助教	
申込資格 (語学要件)	TOEIC400点程度	申込の時点でスコアの提出は不要です。参加決定後、スコアをお持ちの方は提出していただきます。
参加費用	詳細は P17「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
事前研修（3回）	第1回 4月25日（土）2限 旅行会社による手続きの説明 第2回 6月6日（土）2限 担当教員による授業 第3回 7月31日（金）16:00～ 旅行会社による出発案内	いずれも多摩キャンパスで対面開講予定。他キャンパスの学生はその点に注意して応募してください。
事後研修（1回）	9月26日（土）2限 担当教員による授業	※出席率も成績評価の対象に含む

（1）事前研修(3回)・事後研修(1回)

参加者は、現地渡航前に事前研修3回（※2回目では担当教員による授業形式）を受講し、課題等の取り組み（課題提出等あり）、現地研修終了後には担当教員による授業形式の事後研修1回を受講することになります。

（2）プログラム概要

■スウィンバーン工科大学の特色

このプログラムは、メルボルンの東部にある Swinburne University of Technology の英語教育機関 Swinburne College が提供する English language Courses に参加するプログラムです。Swinburne College は、Swinburne University of Technology に進学するためのコースから短期の語学コースまで質の高いプログラムを提供しています。世界40カ国から多くの留学生が Swinburne College で学んでいます。Swinburne College のある Hawthorn Campus は、メルボルンの中心から電車で10分～15分程の便利な場所にあります。

■現地研修

授業時間数：週20時間（授業）+5時間（e-learning）

クラス人数：15人程度（最大18人）

出発前にオンラインクラス分けテストを実施します。その結果によって、下記2つのいずれかのプログラムを受けることになります。なお、IELTS/TOEFL/TOEIC/英検のスコアを持っている学生はプレースメントテストを受ける必要はありません。また、プレースメントテスト等の結果でオープンクラス（他国からの学生も含む）もしくはクローズドクラス（中大生のためのクラス）へ分けられます。英検 2 級以上（IELTS 5.0 以上）の英語力に満たない場合はオープンクラスではなくクローズドクラスに入る可能性があります。

General English（一般英語） – 初級から中級レベルの学生 このプログラムは下記の内容が含まれています。

- Listening and oral communication skills
- Grammar and vocabulary development
- Supervised independent learning

English for Academic Purpose – 中級から上級レベルの学生 このプログラムは下記の能力向上を目的としています。

- assignment, report and essay writing
- academic reading, listening and note-taking
- communication and interaction in the academic environment
- oral presentation and seminar discussions research and library techniques

■ バディプログラム

授業終了後にスウィンバーンで学んでいる学生と交流を持つ機会があります。授業以外に時間に彼らと交流することによって、英語を話すチャンスが増えとてもよい機会になるでしょう。また、メルボルン市内を案内してもらう機会もあるようです。

■ 課外活動

下記のような企画が計画されています。但し、変更になる可能性があります。

Queen Victoria Market Tasting Tour, Farewell Lunch

■ 滞在先

ホームステイ（平日は朝・夕 2 食、休日は 3 食付き）、個室が提供される予定です。

※1 家庭につき 2 名または 3 名以上が同時に滞在する場合は、複数の日本人と一緒にいる可能性もあります。

朝食は、シリアル、トーストなど自分で用意して食べていくのが一般的です。

■ 通学に関して

ホームステイ先の場所によって異なりますが、最大でも片道 1 時間程度の距離を想定しています。公共交通手段での通学になります。

(3) 参加費

参加費には未確定のものや外貨建てのものが含まれるため、総額が変更になる可能性がありますので注意してください。

予定参加費：約 70 万円

参加費用に含まれるもの	<ul style="list-style-type: none">•日程表に記載された区間の航空運賃 21~25 万（含燃油サーチャージ、空港使用料含む）•登録料 150 オーストラリアドル•授業料、諸経費、課外活動費 1,525 オーストラリアドル•プレイスメントテスト費 50 オーストラリアドル (IELTS/TOEFL/TOEIC/英検のスコアを提出できる場合は不要)•バディプログラム費用 150 オーストラリアドル•ホームステイ手配料 350 オーストラリアドル•ホームステイ費用（平日 2 食、休日 3 食付き） 410 オーストラリアドル/週 ※1 人~3 人 / 1 家庭を想定。•空港送迎費（往復） 380 オーストラリアドル
上記費用に含まれないもの	<ul style="list-style-type: none">•海外旅行保険料（中央大学指定）•その他諸経費(ETA 実費・申請料等)•昼食代、現地交通費、off-campus Excursion での諸経費、自由行動時の諸費用、現地での Optional Activities、お土産代等個人的な支出。•海外用 SIM カード代 ※希望者のみ

(4) 事後研修

担当教員による授業形式の事後研修を 1 回実施します（成績評価に含まれます）。

■ 授業

授業は、午前中 3 時間のレッスンが行われます。主な内容は、A2～B1/B2 レベルの学生は、集中的なスピーキングやライティングの練習、文法と語彙の練習、テキストでの課題、異文化研究、日常文化について学びます。午後は、3 時間のチュートリアルを行い、自分で選択したトピックに関するプロジェクトワークを行います。B1/B2-C1 レベルの学生は、午前は、コミュニケーションとレトリックについて、文法、語彙、ライティング等に関する演習を行います。午後は、3 時間の国内でのプロジェクト、テーマ別の課題。また、プレゼンテーションの実施や、毎日日記をつけ、それを添削してもらうなどの課題が出る場合があります。1 クラスの人数は 12 人～14 人程度です。午後にはチューター（12～14 人、1 クラス 2 名）による補習が行われます。文法の補習、翌日の予習の他、独自の課題が与えられることもあります。時には、カフェで語り合ったり、ボートを漕いだりなどしながら、楽しくドイツ語を学べる時間です。

■ 夕方のプログラム

夕方には、以下のようなプログラムが開催されています。

movies, workshops on regional studies/literature, musical activities, excursions, theater, sports, cooking/baking, cultural evenings

■ 週末のプログラム

週末にはテュービンゲン近郊散策や登山などが企画されています。

■ 滞在先：大学の学生寮

参加者は全員、テュービンゲン大学の学生寮に宿泊します。寮ではドイツ人学生や、各国からの留学生と生活を共にします。配置される部屋や棟によって設備等が異なります。シーツ、枕カバー、布団カバーを各自持参。

(3) 渡航に関して

- ① 個人旅行(集合日前・解散後)をつける場合は、中央大学の前期・後期授業・試験日程等と重複しないようにすること。
※個人旅行の旅程表を必ず提出してもらいます。
- ② 航空券や集合日前・後の旅行手配は、これまでのトラブル対応の実績から中大生協で手配することを推奨します。

(4) 参加費

2026 年度は以下の費用が予定されています。(2026 年 2 月時点 テュービンゲン大学提示)。

授業料と寮費は事前に各自海外送金にてテュービンゲン大学へ直接支払っていただきます。

詳細はオリエンテーションにて説明します。

授業料	790 ユーロ	事前に各自海外送金にて支払い。※支払い時期・方法については変更の可能性あり。
寮費	460～490 ユーロ	事前に各自海外送金にて支払い。※支払い時期・方法については変更の可能性あり。
食費等	400 ユーロ程度	各自で支払い。
往復渡航費	約 35 万円	自己手配のため、予約時期、運航ルート、航空会社によって価格は異なる。
海外旅行保険	約 1.5 万円	中央大学の指定する保険に全員加入。
現地交通費	列車・バス・タクシー等の移動費用。	
個人支出	自由行動時の諸費用、携帯電話代、洗濯代、お土産代等個人的な支出など。	

研修先	Universite Toulouse Jean Jaures（フランス トゥールーズ） https://defle.univ-tlse2.fr/home/summer-school	
現地研修実施期間	2026年8月3日(月)～8月28日(金)	
渡航期間	2026年8月1日(土)日本発～8月30日(日)日本着(エールフランス利用予定)	往復団体行動
プログラム	トゥールーズ＝ジャンジョレス大学語学院 DEFLE での4週間の語学研修	
滞在先	ホームステイ（予定）	
募集人員	20名	最小催行人数はありませんが、参加人数が9人を下回った場合は渡航費が高くなります。
プログラム参加者	他国からの学生との混合	
参加費用	詳細は P21「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
前期授業担当	経済学部 伊藤洋司 教授 商学部 小林佐江子 准教授 理工学部 金澤忠信 教授 文学部 フェリエ ミカエル フランキー 教授	複数の教員によるリレー講義 本プログラムの前期授業は遠隔（完全オンラインまたはハイフレックス）にて行います。
申込資格(語学要件)	特になし	
前期授業日程	金曜日 5時限（初回授業日：4月17日）	
選考方法	原則、書類選考	
オリエンテーション	4月17日(金)、7月17日(金)5限の授業内に実施	オンラインまたはハイフレックス

(1)前期授業

参加者は、前期授業週1回、全14回を受講します。授業内容は、各学部講義要項を確認してください。
前期授業期間中、申込手続き等に関するオリエンテーションを実施します。

(2)プログラム概要

■トゥールーズ＝ジャンジョレス大学の特徴

トゥールーズ大学ジャンジョレス校は、約150カ国から約4,000人の留学生を毎年受入れている国際色豊かな大学です。また、日本語学科を有し、約トゥールーズ市は人口約45万人を有する国内第4位の都市で、フランス国内ではパリに次ぐ University town と呼ばれています。大学のキャンパスは、トゥールーズ市内中心部から地下鉄で15分程度のミライユ地区に位置し、生活の利便も良く治安も良い地域です。市内にはフランス4大河川の1つであるガロンヌ川が流れており、自然豊かな落ち着いた環境で留学生生活を過ごすことができます。

■現地研修

トゥールーズ＝ジャンジョレス大学付属の語学学校 DEFLE が主催する SUMMER SCHOOL に参加します。60時間の語学クラスと24時間のワークショップで構成されており、午前中はフランス語クラス、午後はアトリアエと呼ばれる表現や発音・シアター等、表現の強化クラスが設けられています。また、費用には Cultural Package と呼ばれる体験プログラムが含まれており、土曜日の日帰りツアー、リパークルーズ、トゥールーズの町散策、チーズテイasting、ディナー1回などの体験ができます。

■クラス分け試験

初日にプレースメントテストを行う予定です。

■ 授業

プレイスメントテストの結果を受け、レベルに応じて複数のクラスに分かれます。それぞれの語学力に応じたクラスで受講できるようになっています。授業（4週間：60時間+アトリエワークショップ24時間）のスケジュールの例は以下のとおりです。（変更可能性あり）

■ 滞在先：ホームステイ

平日 2 食、週末 3 食付き。

(3)参加費

参加費には未確定のものや外貨建てのものが含まれるため、総額が変更になる可能性がありますので注意してください。

予定参加費：約 85 万円

参加費用に含まれるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料・諸経費 1,280 ユーロ 参加人数によって変動します。 ・ホームステイ費用 1,224 ユーロ (授業料等と同時に徴収し、ジャンジョレス大学へ支払う予定。往復空港送迎費を含む。) ・往復渡航費・委託手数料 35～38 万円 旅行会社手配。 ・通学定期券 35 ユーロ ホームステイ先-大学間の通学定期券 1 か月分。トゥールーズ市内で使用可能。
上記費用に含まれないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行保険料 約 1.5 万円 (中央大学指定) ・日本国内の交通費 ・現地交通費 列車・バス・タクシーなどの移動費用。 ・個人支出 追加の課外活動費用、自由行動時の諸費用、携帯電話代、お土産代等個人的支出など。

「短期留学プログラムⅢ・Ⅳ」（2単位）

【韓国語圏】

1. 檀国大学
2. 慶熙大学

【中国語圏】

国立中央大学

【スペイン語圏】

メキシコ国立自治大学

申込期間

2026年3月23日(月)

~4月10日(金) 正午まで

研修先	檀国大学 Dankook University (韓国 京畿道 龍仁市)	
現地研修期間	2026年8月4日(火)~20日(木) 約3週間	
渡航期間	現地集合：8月3日(月) 現地解散：8月21日(金)	航空券自己手配 現地集合/現地解散
プログラム	Korea Immersion Program (KIP) https://summer.dankook.ac.kr/web/summer/overview2	
滞在先	寮(オンキャンパス)	2人1部屋
プログラム参加者	他校からの学生との混合	クラスにより、日本人の割合が高い場合あり。
募集人員	15名程度	
申込資格(語学要件)	特になし	
参加費用	詳細はP25「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
事前・事後研修担当教員	商学部 文 純實 (ムン スンシル) 准教授	
申込資格(語学要件)	特になし	
選考に関して	書類選考	
事前研修日程(3回)	第1回 5月16日(土)2限 手続きの案内 第2回 6月13日(土)2限 担当教員による授業 第3回 7月11日(土)2限 出発案内	いずれも多摩キャンパスで対面開講予定。他キャンパスの学生はその点を注意して応募してください。 ※出席率も成績評価の対象を含む
事後研修日程(1回)	9月26日(土)2限 担当教員による授業	

(1) 事前研修(3回)・事後研修(1回)

参加者は、現地渡航前に事前研修3回（※2回目では担当教員による授業形式）を受講し、課題等の取り組み（課題提出等あり）、現地研修終了後には担当教員による授業形式の事後研修1回を受講することになります。

(2) プログラム概要

■ 檀国大学の特色

檀国大学は、韓国でも伝統のある学生数約30,000名の大きな私立の総合大学です。竹田と天安にキャンパスがあり、語学研修は竹田キャンパスで行われます。ソウルから電車で1時間の距離にあり、自然が多く落ち着いた雰囲気のカンパスです。世界50か国以上に約300の協定校を保有しており、約2,000名の留学生在籍しています。

■ 現地研修

Korea immersion Program(KIP)に参加します。到着後クラス分けテストを実施し、それぞれのレベルに応じたクラスに所属します。月曜日から金曜日は午前中4時間の語学クラスが行われ、午後には文化体験の場が用意され、参加必須のものに加えて希望者のみが参加できる体験も用意されています。語学の勉強だけでなく文化体験の機会も充実した構成になっています。

Cultural Activities

毎日の語学クラス後と金曜日に実施。

(参加必須のクラス：無料) NANTA Musical, Seoul Sky activities

(希望者のみ参加のクラス：有料) Ice-skating, Kimuchi Making, K-pop dance, Taekwondo, Amusement Parks, Folk Village, etc.

※詳細は檀国大学ホームページ内、Cultural Activitiesをご参照ください。

■プログラムスケジュール(変更になる場合があります) ※基本的に、土・日の授業はありません。

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
4 Move-in	5 Orientation	6 Class 1	7 Class 2	8 Class 3	9
11 Class 4	12 Class 5	13 Class 6	14 Class 7	15 National Liberation Day	16
18 Class 8	19 Class 9	20 Class 10	21 Completion Ceremony	22 Move-Out	23

■滞在先：大学寮

2人1部屋。寮の近くに3つのコンビニあり。また、寮内に小さい食堂及びキャンパス内カフェテリアあり（5,000～10,000 ウォン程度）。
* 詳細は決まり次第参加者へお知らせします。

(3) 渡航に関して

- ① 個人旅行(集合日前・解散後)をつける場合は、中央大学の前期・後期授業・試験日程等と重複しないようにすること。
※個人旅行の旅程表を必ず提出してもらいます。
- ② 航空券や集合日前・後の旅行手配は、これまでのトラブル対応の実績から中大生協で手配することを推奨します。

(4) 参加費

参加費は USD1,300 です。檀国大学と中央大学間の協定に基づき、6名分の参加費が免除となります(変更の場合あり)。
免除額を参加者全体に振り分け、一部割引とした上で参加費を決定します (KRW 建てまたは USD 建ての金額を提示予定で
す)。
各自海外送金により支払い。
なお、参加費以外の費用に関しては全て自己負担となります。参加費用については変更の場合あり。

参加費用に含まれるもの	出願料、寮費用、語学研修費、無料の文化体験
上記費用に含まれないもの	往復航空券代、空港ピックアップサービス費用、有料の文化体験参加費、食事代、現地交通費、自由行動時の諸費用、携帯電話代、お土産代等個人的な支出、海外旅行保険料(中央大学指定：約 10,000 円程度)など。

(5) 事後研修

担当教員による授業形式の事後研修を1回実施します(成績評価に含まれます)。

研修先	慶熙大学 国際教育院（韓国 ソウル市） Kyung Hee University, Institute of International Education	
現地研修期間	2026年8月31日(月)～9月18日(金) 3週間	
渡航期間	現地集合：8月30日(日) 現地解散：9月19日(土)	航空券自己手配 現地集合／現地解散
プログラム	3週間 夏2次短期韓国語課程 https://iie.khu.ac.kr/jp/bbs/content.php?co_id=OnCampus2	
滞在先	大学寮（予定）	2人1部屋（予定）
プログラム参加者	他校からの学生との混合	クラスにより、日本人の割合が高い場合あり。
募集人員	15名程度	
申込資格(語学要件)	特になし	
参加費用	詳細は P27「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
事前・事後研修 担当教員	商学部 文 純實（ムン スンシル） 准教授	
申込資格(語学要件)	特になし	
選考に関して	書類選考	
事前研修日程(3回)	第1回 5月16日(土)2限 手続きの案内 第2回 6月13日(土)2限 担当教員による授業 第3回 7月11日(土)2限 出発案内	いずれも多摩キャンパスで対面開講予定。他キャンパスの学生はその点を注意して応募してください。
事後研修日程(1回)	9月26日(土)2限 担当教員による授業	※出席率も成績評価の対象に含む

(1)事前研修(3回)・事後研修(1回)

参加者は、現地渡航前に事前研修3回（※2回目では担当教員による授業形式）を受講し、課題等の取り組み（課題提出等あり）
現地研修終了後には担当教員による授業形式の事後研修1回を受講することになります。

(2)現地プログラム

■慶熙大学の特色

慶熙大学は、幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた名門私立大学で、現在ソウル、水原（スウォン）、光陵（クァンヌン）の3ヶ所にキャンパスを構えています。得意とする分野に東洋医学、観光学科を挙げることができ、最近は大学の観光学科を目指し語学堂から大学へ進学する学生も増えています。世界78か国、500校以上の大学と交流提携しています。

■現地研修

慶熙大学ソウルキャンパスに位置する国際教育院で実施される、サマーコースに参加します。例年30カ国以上から300名以上の学生が参加している規模の大きいコースです。到着後クラス分けテストを実施し、それぞれのレベルに応じたクラスに所属します。韓国語の、話す・聞く・書く・読むの4つの技能を総合的に学べる韓国語の授業と、韓国の礼法やダンス体験等、文化体験プログラムが用意されています。**トウミ制度（現地学生によるサポート体制）があります。**

語学授業：平日9時～13時（予定）

文化授業：オプションで14:10～16:00に実施。参加必須のクラスもあり。（予定）

■プログラムスケジュール例（※変更になる場合があります。）

MON	TUE	WED	THU	FRI
オリエンテーション及び クラス分けテスト	韓国語授業	韓国語授業 ----- 文化授業	韓国語授業	韓国語授業
韓国語授業	韓国語授業	韓国語授業 ----- 文化授業	韓国語授業	現地学習
韓国語授業	韓国語授業 ----- 文化授業	韓国語授業	現地学習	韓国語授業及び 修了式

■滞在先:大学寮（予定）

2人1部屋。（予定）

* 詳細は決まり次第参加者へお知らせします。

(3) 渡航に関して

- ① 個人旅行(集合日前・解散後)をつける場合は、中央大学の前期・後期授業・試験日程等と重複しないようにすること。
※個人旅行の旅程表を必ず提出してもらいます。
- ② 航空券や集合日前・後の旅行手配は、これまでのトラブル対応の実績から中大生協で手配することを推奨します。

(4) 参加費

2026年度は以下の参加費が予定されています。(2026年3月時点 慶熙大学提示)

参加費用に含まれるもの	申請料：W90,000 プログラム費用：W810,000 滞在費：W543,000（2人部屋の場合）
上記費用に含まれないもの	教材代（クラスによって異なる）、往復航空券代、オプション参加の文化体験参加費、食事代、現地交通費、自由行動時の諸費用、携帯電話代、お土産代等個人的な支出、海外旅行保険料（中央大学指定：約10,000円程度）など。

(5) 事後研修

担当教員による授業形式の事後研修を1回実施します（成績評価に含まれます）。

研修先	国立中央大学 National Central University（台湾 桃園市）	
現地研修期間	2026年8月6日(木)～17日(月) 2週間	
渡航期間	現地集合：8月5日(水) 現地解散：8月18日(火)	航空券自己手配 現地集合／現地解散
プログラム	国立中央大学付属語学センター主催の Summer Program	
滞在先	大学寮または大学ゲストハウス	1～4人1部屋
プログラム参加者	他国からの学生との混合	クラスにより、日本人の割合が高い場合あり。
募集人員	20名程度	
申込資格(語学要件)	特になし	
参加費用	詳細はP29「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
事前・事後研修 担当教員	文学部 明田川 聡士 准教授	
申込資格(語学要件)	特になし	
選考に関して	書類選考	
事前研修日程(3回)	第1回 4月25日(土)9:30～10:40 手続きの案内 第2回 6月13日(土)2限 担当教員による授業 第3回 7月11日(土)9:30～10:40 出発案内	オンライン又はハイブリッドにて開催予定。 ※出席率も成績評価の対象に含む
事後研修日程(1回)	9月26日(土)2限 担当教員による授業	

(1) 事前研修(3回)・事後研修(1回)

参加者は、現地渡航前に事前研修3回（※2回目では担当教員による授業形式）を受講し、課題等の取り組み（課題提出等あり）、現地研修終了後には担当教員による授業形式の事後研修1回を受講することになります。

(2) プログラム概要

■ 国立中央大学の特色

中央大学は桃園市に位置する国立大学です。桃園国際空港からは車で約20分の場所に位置しています。1962年に創立され、現在では、8学部、22学科、54の研究所があります。特に宇宙工学や天文関係に関しては台湾随一の設備を有しており、重点研究大学7校の一つに指定されています。

■ 現地研修

大学付属語学センター主催のサマープログラムに参加します。カリキュラムには、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングが含まれ、あらゆるレベルの中国語能力の向上を目指します。台湾の文化に親しみ、ネイティブの環境で中国語を練習する機会が増えるよう、ユニークな文化紹介や台湾の歴史的な場所への遠足が用意されています。

参加者は各自のニーズに合ったクラスに分けられます。

Cultural Trip

国立故宮博物院、龍山寺、西門町等に訪問

■プログラムスケジュール(変更になる場合があります) ※基本的に、土・日の授業はありません。

Aug. 5-9 (Wed.~Sun.)

Date	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9
Time	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
09:00-12:00	15:00 pick up service from Taoyuan Airport and check-in	Chinese Course	Chinese Course	Free Time	
12:00-13:00		Welcome Lunch	Lunch Break		
13:00-16:00		Chinese Course	Chinese Course		

Aug. 10-16 (Mon.~Sun.)

Date	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
09:00-12:00	Chinese Course	Chinese Course	Culture Trip	Chinese Course	Chinese Course	Free Time	
12:00-13:00	Lunch Break			Lunch Break			
13:00-16:00	Chinese Course	Chinese Course		Chinese Course	Chinese Course		

Aug. 17-18 (Mon.~Tue.)

Date	8/17	8/18
Time	Monday	Tuesday
09:00-12:00	Culture Trip and Farewell lunch	10:00 Check-out
12:00-13:00		10:50 Pick up service to Taoyuan Airport.
13:00-16:00		



■滞在先：大学寮または大学ゲストハウス

1-4人1部屋。

*詳細は決まり次第お知らせします。

(3) 渡航に関して

①個人旅行(集合日前・解散後)をつける場合は、中央大学の前期・後期授業・試験日程等と重複しないようにしてください。

※個人旅行の旅程表を必ず提出してもらいます。

②航空券や集合日前・後の旅行手配は、これまでのトラブル対応の実績から中大生協で手配することを推奨します。

(4) 参加費

2026年度は以下の費用が予定されています。(2026年2月時点国立中央大学提示)。

授業料・宿泊費はUSD1,000です。事前に各自海外送金にて国立中央大学へ直接支払っていただきます。

※国立中央大学と中央大学の協定に基づき、4名分のプログラム費用が免除となります(変更の場合あり)。免除額を参加者全体に振り分けて一部割引とした上で参加費を決定します。

参加費用に含まれるもの	滞在費、語学研修費、Cultural Trip 参加費、空港送迎費
上記費用に含まれないもの	往復航空券代、食費、現地交通費、自由行動時の諸費用、携帯電話代、お土産代等個人的な支出、海外旅行保険料(中央大学指定：約10,000円程度)など。

(5) 事後研修

担当教員による授業形式の事後研修を1回実施します(成績評価に含まれます)。

研修先	メキシコ国立自治大学 外国人のためのスペイン語センター（メキシコ タスコ市） Universidad Nacional Autónoma de México Centro de Enseñanza para Extranjeros	
現地研修期間	2026年8月10日(月)～9月4日(金) 4週間	
渡航期間	8月8日(土) 大学寮 check in 9月5日(土) 大学寮 check out	往復団体行動
プログラム	短期課程（4週間） http://www.cepetaxco.unam.mx/en/	
滞在先	学生寮（CEPE 提携ホテル、またはホームステイに変更の可能性あり）	1～4人 / 1部屋
プログラム参加者	日本人（中大生）のみのクラス	
募集人員	12名程度	最小催行人数6名
参加費用	詳細はP31「参加費」の欄を参照してください。 ※為替レートの変動により、費用総額も変動します。	
事前・事後研修 担当教員	商学部 山浦 アンヘラ 准教授	
申込資格(語学要件)	特になし	
選考に関して	書類選考	
事前研修日程(3回)	第1回 4月22日(水)17:00～ 手続きの説明 第2回 6月13日(土)2限 担当教員による授業 第3回 7月 未定 出発案内 ※日程は決まり次第お知らせします	第1回と第3回はオンライン 又はハイブリッド ※出席率も成績評価の対象に含む
事後研修日程(1回)	9月26日(土)2限 担当教員による授業	

(1)事前研修(3回)・事後研修(1回)

参加者は、現地渡航前に事前研修3回（※2回目では担当教員による授業形式）を受講し、課題等の取り組み（課題提出等あり）
現地研修終了後には担当教員による授業形式の事後研修1回を受講することになります。

(2)現地プログラム

■メキシコ自治大学の特色

中南米で最大規模を誇る国立総合大学です。学生数は約337,000人、国内で唯一3人のノーベル賞受賞者、現職を含む大統領8名を輩出している大学です。アメリカ大陸で2番目に長い歴史を持ち、メキシコシティのメインキャンパスは世界遺産に登録されています。

■現地研修 ※変更になる場合があります。

- ・1日2.5時間の4週間のスペイン語クラス、1.5時間のLanguage Practice またはMexican Culture及びワークショップ
- ・ワークショップ：8時間 メキシコ料理教室、4時間 ラテンダンス、4時間 環境教育（メキシコ伝統的医学など）、6時間 地元の職人による銀細工、2時間 映画鑑賞
- ・体験：
 - ・8時間 ソチカルコ遺跡訪問
 - ・1日メキシコ国立自治大学キャンパスツアー&フリーダ・カーロ美術館訪問
 - ・ウェルカム朝食、オリエンテーション、タスコ市ツアー
- ・日本人（中大生）のみのクラス。現地の学生によるチューターサポートあり。

■プログラムスケジュール

※ 履修者に案内予定。

■滞在先: 学生寮 (CEPE 提携ホテル、またはホームステイに変更の可能性あり)

1～4人／1部屋。大きなキッチンと調理道具が完備されており、自炊可能。宿泊者用プールあり。
キャンパス内に食堂あり。

* 詳細は決まり次第参加者へお知らせします。

(3)参加費

2026年度は以下の参加費が予定されています。(2026年3月時点 メキシコ国立自治大学提示)

予定参加費：約 80 万円

参加費用に含まれるもの	プログラム費用、滞在費：\$ 2,385 USD 渡航費：約 40 万円
上記費用に含まれないもの	教材代（クラスによって異なる）、食事代、現地交通費、自由行動時の諸費用、携帯電話代、お土産代等個人的な支出、海外旅行保険料(中央大学指定：約 15,000 円程度)など。

(4)事後研修

担当教員による授業形式の事後研修を 1 回実施します（成績評価に含まれます）。

2026年度 短期留学プログラム（夏季） 募集要項

発行日 2026年3月

編集発行 中央大学 国際センター

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

電話 042-674-2219/2211 FAX 042-674-2214

Email: tanki-grp アット g.chuo-u.ac.jp

※アットを「@」に変えて送信してください

URL : https://www.chuo-u.ac.jp/international/outbound/short_term/



誓約書

私は、中央大学短期留学プログラムへの参加を許可された場合には、事前研修の段階から担当教員の指導に従い、他の参加者と協力して規律を守り、積極的に学習し、短期留学中は留学の目的とそれに関する責任（「短期留学プログラム募集要項」記載）を了解の上で以下の事項を遵守することを誓約します。

1. 留学に臨む姿勢

- 1) 現地プログラム参加中は、中央大学が派遣する学生であることを自覚し、中央大学学生としての品位と矜持をもって行動すると共に、研修先大学・滞在先(大学寮・ホームステイ先等)の規則を守り、学業に精励すること。
- 2) 現地プログラムの研修期間を満了すること。また中央大学で行われる事前研修や事後研修には必ず参加すること。
- 3) 学業成績が留学先機関の基準を下回る場合はプログラムへの参加中止の措置がとられることがあるので、これに従うこと。
- 4) 留学プログラム期間中は、本学の学生としての自覚と責任のもと、留学先国の法令・留学先機関および本学の諸規則を遵守し、留学先機関の指導教員・担当者等の指示に従い、留学先国の公序良俗に反する行為は厳に慎むこと。
- 5) 留学プログラム期間中や渡航期間中に、プログラム実施国ならびに移動中の交通機関において、災害・暴動・テロ・事故・疾病・感染症・犯罪等による損害その他不利益が起こった場合、およびその対応処置について、本学に一切責任を問わないこと。
- 6) 留学プログラム期間中、自らの故意・過失・法令違反・公序良俗に反する行為によって、自己、留学先機関または第三者に対し損害等を与えた場合は、本学に一切責任を問わないこと。また、自らが留学先機関または第三者に与えた損害等により、本学が損害賠償の責を負った場合は、自らの責任において、本学が被った損害を補填すること。
- 7) 時期的に日本人が多いことを理解して参加すること。

2. 手続き

- 1) 応募選考結果に関して異議を申し立てないこと。また、国際センターは各プログラムへの応募倍率や選考結果に関する問い合わせには一切回答できないことを事前に了承すること。
- 2) 留学先国・地域による入国制限を確認し、入国条件（ワクチン接種証明や陰性証明書の提示等の防疫措置）を満たすこと。
- 3) 留学プログラムに関連して求められる全ての提出物は、必ず期限までに提出すること。期限までに提出しない場合は、単位付与がされない場合があることを了承すること。
- 4) 留学に必要な諸手続き（各種書類の作成、必要な場合にはパスポート/ビザの取得、本学の所属学部・研究科における単位認定等の手続、科目登録、留学費用の支払い・保険加入等）は事前に十分確認し、自らの責任において行うこと。
- 5) 選考があるプログラムについては、書類選考や教職員との面談等を通して、プログラムへの参加の是非が判

断される場合があることを了承すること。本学の留学プログラム参加者となった後も、留学先機関等の事情によって受入が許可されない場合もあることを了解すること。

- 6) 短期留学プログラムに参加が認められた後には、本学が正当と認める以外辞退できないので、十分理解のうえ出願すること。
- 7) 個人的な事情でプログラム日程の変更や、プログラムの変更（一時離団・途中離団など）/中止はできないことを了承すること。
- 8) 留学にかかる所定の費用（研修代金等）を定められた期日までに支払うこと。
- 9) 留学にかかる経費を定められた期日までに準備する必要があるので、事前に保護者等の経済的負担者の了解を得たうえで出願すること。
- 10) 保護者等とは、学生が学修研究活動を円滑に遂行していく上で、本学と連携し、学生を指導、支援する立場の者であること。
- 11) 相手先の都合により支払い期日や申込み期日に変更になる場合があることを理解したうえで出願すること。

3. プログラムの中止・変更

- 1) 日本政府（主に外務省）が発出する情報等（主に危険情報レベルや感染症危険情報レベル）や各国の入国制限の状況、協定校の実施形態などの最新状況を踏まえ、本学または協定校の判断で、留学プログラムの中止や帰国勧告、もしくはプログラム形態の変更を決定する場合があることを理解し、その場合は速やかに指示に従うこと。
- 2) 上記に伴って発生する取消料、違約金、その他追加費用・準備費用・諸費用（プログラム費用、宿泊費用、渡航費用等）等は参加者の負担となり、研修旅行代金の返金もないことを了承すること。
- 3) プログラムの滞在形態、滞在先は現地大学や本学の都合により変更になることがあります。その際はその指示に従うこと。

4. 危機管理

- 1) 渡航での留学に際して、出発から帰国までの本学指定の海外旅行保険へ必ず加入する必要があります。内容を把握したうえで、十分に活用すること。
- 2) 本学指定の海外旅行保険に加入した場合でも、留学先大学から別途現地保険に加入を求められた場合は、双方の保険に加入すること。
- 3) 本学指定の海外旅行保険については、保険始期日（開始日）は日本を出発する日から（*ただし、深夜便フライト利用の際は、自宅を出発する日から）となる。
- 4) 留学プログラム期間中は、留学プログラムまたは本学で定める居住先がある場合には、その居住先に滞在すること。また、留学先国への入国および日本への帰国は、必ず各プログラムが指定する航空便を利用すること。
- 5) 留学先国・地域が情勢不安定な中で起こる様々なリスク（医療や大学のサポートが制限されるリスク、自由な移動が制限されるリスク等）を承知していること。
- 6) 留学先国・地域において、救援・救護が必要になった場合でも、渡航先の国における入国制限によって日本から家族や大学関係者が、速やかに又は全く入国できないことがあることを理解していること。
- 7) 留学期間中は、中央大学と留学先大学が定める各種報告事項（健康情報等を含む）がある場合は、速やかに対応すること。
- 8) ホームステイを伴うプログラムの場合は、以下のことについて理解のうえ、申し込みをすること。
 - (1) ホストファミリーの家庭環境は必ずしも同様ではなく、ホストファミリーのライフスタイルや家族構成（ご夫婦が高齢の場合、母子家庭、小さなお子様がいる家庭、同世代の異性のお子様がいる家庭、共働き

の家庭、一人暮らしの方等)、人種、食事(ホストファミリーの手作り、冷凍食品、参加者自身での自炊等)、ペットの有無、設備、留学先機関までの通学距離等は、滞在する家庭によって異なること。

- (2) ホームステイ申込書等に、希望の家庭環境(子どもやペットの有無等)について記述できる場合があっても、必ずしも希望どおりになるわけではないこと。
- (3) 「ゲスト(お客様)」として滞在するのではなく、滞在中はハウスルール(家庭内の規則)を尊重して行動すること。
- (4) 出発前・プログラム参加中に滞在先を原則変更することはできないこと。ただし、受け入れるホストファミリーの諸事情(急用、病気等)によりホームステイ先が、出発前・プログラム参加中に現地手配側により変更される場合があること。

5. 個人情報の提供

- 1) 留学プログラム運営管理目的のため、国際センターが留学先機関に個人情報を提供することに同意すること。
- 2) 留学プログラムの運営のためにまたは学生の安全を守るために、留学先機関が取得した成績情報・生活面の個人情報が本学に提供されることに同意すること。
- 3) 危機管理等の理由で、学生本人の了承を得ずに国際センター・所属学部/研究科から保護者等に情報共有をする場合があることに同意すること。
- 4) 今回提出いただいた個人情報を利用して、本学が主催するイベント等の案内や、留学プログラム説明会へ体験者としての出席依頼などの連絡をする場合があることを了承すること。
- 5) 団体航空券が用意・案内されるプログラムに出願する場合、往復の航空券の仮予約のため、本学がパスポートのコピーと記載の個人情報(氏名・生年月日・性別・パスポート番号・有効期限等)を、航空券を手配する旅行会社・航空会社に必要に応じて提供することに同意すること。
- 6) 本学指定の海外旅行保険申込時、現地到着後に届け出た学生本人および保護者等の個人情報、ならびに留学期間中の事故情報(以下、個人情報という)について、国際センター・所属学部、本学が指定する保険会社・旅行会社・航空会社・関係省庁・在外公館が、事故時の対応・学生および保護者等との連絡・留学プログラムの運営のために共有・利用することに同意すること。

6. 奨学金

留学形態が変更になった場合、または渡航型でも外務省危険情報レベル・感染症危険情報レベルによっては、政府関係機関・民間・大学等からの奨学金が支給されないケースがあること。

7. 保護者等の同意

上記を含め、募集要項の内容を確認し、保護者等と十分に話し合い、両者の理解の上に渡航を伴う留学に申請することを決定していること。

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学生の署名 _____

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保証人の署名 _____ (続柄: _____)

以上